

(抄訳)

## スリランカにおける新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への対応と対策 (2020年4月24日 暫定版)

### はじめに

スリランカにおける新型コロナウイルス感染症（以降、COVID-19とする）の最初の症例は、2020年1月27日、中国の湖北省出身の44歳の中国人女性の確認でした。この女性は団体観光旅行のメンバーの一人としてバンダラナイケ国際空港に到着し、高熱が確認されました。その後、この女性は完全に回復し、2月19日に隔離を解かれました。この事例により、保健省およびその他の関連当局は、世界で現在進行中の危機に一層注力することになりました。スリランカではCOVID-19に対する準備計画を策定していましたが、その日まで実際の症例がなかったからです。

3月10日には、スリランカ国民のCOVID-19の陽性反応が初めて確認されました。イタリア人のグループと一緒に行動していた52歳のツアーガイドでした。この時点で8人の外国人を含む29人の感染者が確認され、政府の病院に入院しました。これを受け、観光客の到着ビザが一時停止されることとなりました。

(記者注：5月14日現在では、915名の陽性が確認され、524名が入院し、382名が回復して退院、亡くなった方は9名です。また、その他詳細確認中105名がいます<sup>1</sup>。)

### 政府の対応の経緯

こうしたなか、政府は社会のすべての部門の協力を求めるCOVID-19との戦いに関連して大統領タスクフォースを設置しました。最初の緊急セッションでは、無責任な態度で行動することの悲惨な結果と、スリランカ国民を保護する目的で始まった検疫プロセスに対する全員の協力の重要性が強調されました。

保健サービス局長が主導する保健省とスリランカ軍司令官が指揮をとる国防省は、他の部門と協力を取りながらCOVID-19感染拡大防止に貢献しています<sup>2</sup>。

#### A. 2020年3月 第1週 [陽性確認数 1]

- 大統領タスクフォースによって行われた決定により、約685人がバットикаロアにある2つのセンターで隔離された。陸軍と保健当局は、短期間に最大限の施設を提供するための措置を講じた。別の2つのセンターも検疫の目的で使用するために準備された。
- スリランカ人、および韓国、イタリア、イランから到着した外国人は、これらのセンターに14日間の検疫措置をとるために送られ、期間終了後に証明書が発行された。[後で国外に出たときに提供する必要があるとされたもの]
- 他の国からスリランカに到着する人々に対し、それぞれの自宅で隔離生活を送ることとこのプロセスに協力するように要請した<sup>3</sup>。

#### B. 2020年3月 第2週 [陽性確認数 15]

- フランスとイタリアで拡大するCOVID-19の状況により、ヨーロッパ人へのビザは2週間停止された。
- ヨーロッパから到着したスリランカ人を2週間隔離した。
- 公共交通機関の消毒対策
- 中国の成功に関する事例研究

<sup>1</sup> Health Promotion Bureau, COVID-19 Situation report, <<https://www.hpb.health.gov.lk/en>>

<sup>2</sup> Epidemiology Unit, Ministry of health, Message for Public, viewed on 10 March 2020, <<http://www.epid.gov.lk/web/index.php?lang=en>>

<sup>3</sup> Presidential office, News Archive, President seeks public cooperation to fight COVID-19, viewed on 20 April 2020, <<https://www.president.gov.lk/president-seeks-public-cooperation-to-fight-COVID-19/>>

- 公共の集まりを最小限にするための指示
- 教育や各種サービスの目的でインターネットを利用することにより、州の機関が提供するサービスや学校教育、大学の研究の継続の可能性を検証
- 陽性者が訪れた場所と接触した人を確認し、検疫プロセスを進めていくための指示を発令
- 保健当局によりWHOとの協議が行われ、WHOは、スリランカがすでに実施している感染拡大防止に向けた措置の継続に対し協力を拡大することに合意
- 管理された価格でどこからでも購入できるようにフェイスマスクの配布プロセスを規制することに注意喚起
- この感染症拡大防止のために毎日15万枚のフェイスマスクを作成できる企業を特定し、品質をチェックした。
- 当局は、中国が効果的に感染拡大を制御するのに役立つ社会的行動の管理について十分研究するように助言を受けた。
- この感染症について人々に知識を与えるために、電子媒体、印刷媒体、ソーシャルメディアを使用することの重要性を強調した<sup>4 5</sup>。4&5



Source: <https://army.lk>

### C. 2020年3月 第3週 **[陽性確認数 86]**

- SAARC大臣会合が実施され、
- フランスとイタリアで拡大するCOVID-19の状況により、ヨーロッパ人へのビザは2週間停止された。
- ヨーロッパから到着したスリランカ人を2週間隔離した。
- メンバー各国の首脳が参加したSAARC閣僚会議では、COVID-19と戦い、致命的な脅威を克服するための協同対応を策定した。またスリランカの経済が経済的に困難な時期を乗り切ることを支援するメカニズムを策定した。
- 中国の武漢省に留学していた学生は、要望に基づいて帰国の手配がされ、14日間隔離された。中国にいるその他の750人は自己隔離を求められた。また、当局はインド各地で巡礼中だった300人を帰国させることを要望された。
- 12の主要な病院は、追加で、感染が疑われたり、確認された人の治療を行うために体制を整えた。
- 警察は、隔離プロセスを守っていない人々を確認し、それらの人々に認識させるよ

<sup>4</sup> Presidential office, News Archive, Concrete Decision to prevent COVID-19, viewed on 20 April 2020, <<https://www.president.gov.lk/concrete-decisions-to-prevent-spread-of-COVID-19/>>

<sup>5</sup> SL army, National Operation center for prevention of COVID-19 Outbreak, viewed on 18 April 2020, <<https://army.lk>>

うに指示された。

- 風邪の症状を示す人は、医師のアドバイスを受けながら自己隔離をするよう求められた。警察と公衆衛生検査官は、感染が疑われる人の状況を注意深く監視するよう助言された。
- すべての主要な利害関係者を擁する国家タスクフォースは、重要な決定を行う権限を与えられ、毎日会合を行っている。
- 映画館、スポーツイベント、国際会議、宗教的な集まりなど、すべての大規模な集まりを回避するための対策が講じられている。
- 幼稚園から大学までのすべての教育は、2週間から6週間の範囲で休校した。
- 週の1日は、人々を道路から遠ざけ、公共交通機関を消毒するための休日とすることが宣言された。
- 商業高等裁判所、控訴裁判所および地方裁判所で予定されていたすべての裁判について、公開裁判を実施しないこととなった。裁判官の裁量で緊急の案件のみを取り上げることが周知された。
- 公衆の集会も制限されるが、通常の銀行業務および取引活動は通常どおり続行される。
- 陸軍司令官は、大統領の指示により、COVID-19のアウトブレイクを防ぐために国家オペレーションセンターを指揮するよう命じられた。新しく設置されたセンターは、ヘルスケアおよび他のサービスが一般市民にしっかりと役立つように予防と対応にあたる<sup>6</sup>。



Source: <https://hpb.health.gov.lk/covid19-dashboard/>

- すべての旅客到着便を2週間停止した。一方、関係部局の責任者に、経済・貿易活動やその他の生活に必要なサービスを継続するよう指示した。
- 保健省は、COVID-19が感染疑いや感染が確認された患者に関する暫定的な臨床診療ガイドラインを作成した<sup>7</sup>。
- 第3週の週末に国全体の外出禁止令が出された。

#### D. 2020年3月 第4週 [陽性確認数 105]

- さまざまな局面を注意深く検討し、政府は、公共部門と民間部門の両方について、7

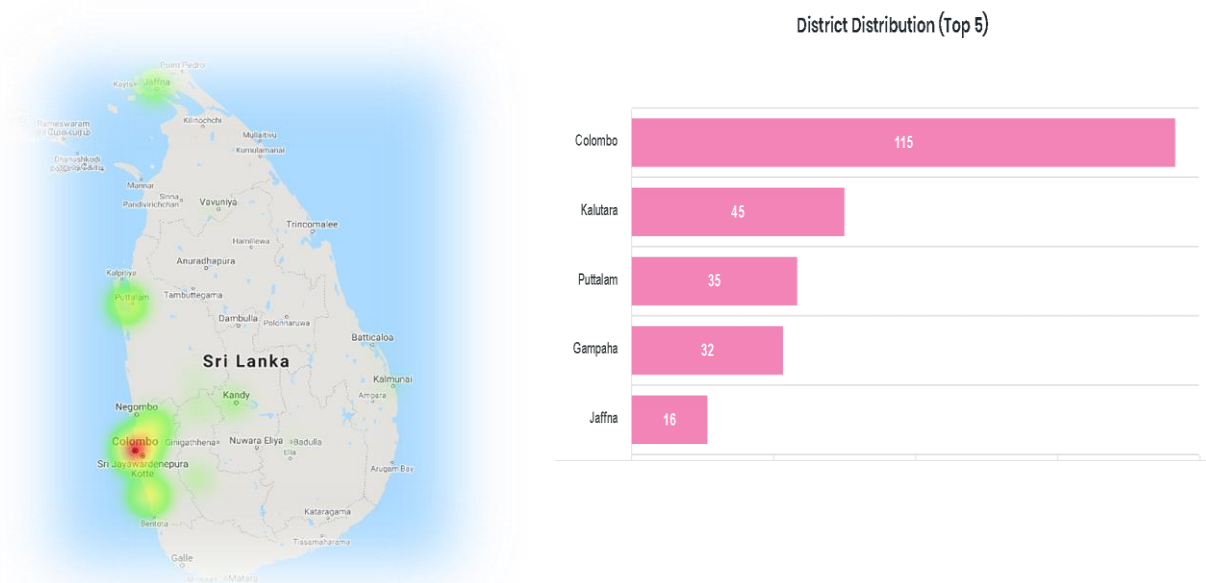
<sup>6</sup> Presidential office, News Archive, Public gatherings further restricted, viewed 18th April 2020, <<https://www.president.gov.lk/public-gatherings-further-restricted/>>

<sup>7</sup> Ministry of Health, News updates, Presidential task force, viewed 18th April 2020, <[http://www.health.gov.lk/moh\\_final/english/](http://www.health.gov.lk/moh_final/english/)>



日間の在宅勤務期間を要請した。リモートワークシステムの実施に際し、関連する部局の長は、スタッフを事務所に召喚することを制限するための措置を講ずるよう求められた。電子メール、SMS、電話などの技術媒体により代替手段を講じ、自宅から一般事務作業を行うことが求められた。

- 当局は、保健、行政、輸送、銀行、食糧、水、電気、肥料の配布、粉の購入などの必要不可欠なサービスの継続的な供給を確保するための措置を講じる権限を与えられた。
- 外出禁止令は感染者数が増加したいくつかの地区[コロンボ、ガンパハ、プットラム]に拡大された<sup>8</sup>。



スリランカの感染者数 Top 5 県 (Source: <https://hpb.health.gov.lk/covid19-dashboard/>)

- 必要な場所や政府の供給センターに十分な量の食料やその他の必需品が運ばれているため、国民はパニック買いをしないことが求められた。
- 国内にCOVID-19が新たに海外から持ち込まれることを防ぐために、政府は空港の到着ターミナルの閉鎖を無期限に延長することを決定した。出発ターミナルは引き続き営業し、出国する乗客のための出発便が許可された。すべての輸出入業務は中断されることなく続行された。
- 全国の外出禁止令が再び4日間課せられ、4日経過後に必需品を購入するための8時間が与えられた。一方、危険度の高い地区[コロンボ、カルタラ、ガンパハ]ではすべての外出禁止が継続された。食品、医薬品、移動ATMなど、すべての必要不可欠なものがドアまで届けられた。各家庭への生活必需品の円滑な配達を行うために、各省の事務局長、政府機関、郡行政長官、および関連職員からなる特別タスクフォースが設置された。配達のための車両は、外出禁止令下の路上での使用が許可された。

<sup>8</sup> Presidential office, News Archive, March 'work from home week', viewed 18th April 2020, <<https://www.president.gov.lk/march-20th-to-27th-declared-as-work-from-home-week/>>

- 大統領はスリランカ中央銀行総裁、すべての省の事務局長、すべての州議会の委員長、およびすべての銀行、金融機関、リース会社の責任者に、下記の適切な救済措置をとるよう指示した<sup>9</sup>。



Source: <https://www.president.gov.lk/news/>

- 所得税とVAT税に対するすべての支払い、運転免許更新料、水道・電気利用料、査定税、15,000スリランカルピー（Rs.）未満の銀行小切手、Rs. 50,000以下のクレジットカードの返済に対する支払いを2020年4月30日まで延長する。
- すべてのスリーウィーラー（三輪車タクシー）のリースローンの分割払いを6か月間一時停止。
- すべての公営および民間企業（取締役会を除く）の従業員の給与からのローン分割払いを2020年5月30日まで一時停止。
- すべての個人のRs. 100万未満の価値の銀行およびリースローン分割払いに対する3か月の一時停止。
- 採用された新規卒業生全員の3月に研修生として勤務したRs. 20,000の手当をそれぞれの銀行口座に入金する。
- COVID-19の拡大制御業務に従事しているすべての保健、警察、市民防衛、およびすべての公務員に対するアグラハラ保険（訳者注：公的医療保険）の給付を倍増する<sup>10</sup>。
- 観光、衣料、中小企業に対する貸付のスリランカ中央銀行による財政状況の再評価の6か月間の一時停止。
- セイロン銀行、人民銀行、国民貯蓄銀行、スリランカ共同保険、従業員積立基金、従業員信託基金が共同で国債や手形に投資して、7%の金利で金融市場を安定させる。
- RS. 50,000までの国内取引のためのクレジットカードの15%の金利と最低月額料金を50%引き下げる。
- すべての銀行の支店では、外出制限が解除されている時は、顧客に完全なサービスを提供する。
- スリランカの港湾、税関、その他の関連機関は、食料、肥料、医薬品、燃料などの生活必需品に関する業務を中断なく継続できるよう運営する。
- Samurdhi（訳者注：貧困対策プログラム）の受領者とSamurdhiカードの所有者にすべてのSamurdhi Bank Associationsを通じて、RS. 10,000の無利子ローンを提供する。

<sup>9</sup> Presidential office, News Archive, viewed 20th April 2020, <<https://www.president.gov.lk/news/>>

<sup>10</sup> Health Promotion Bureau, Live situational Analysis dashboard of Sri Lanka, viewed 22th April 2020, <<https://hpb.health.gov.lk/COVID-19-dashboard/>>.

- m. Lanka Sathosa（訳者注：国営小売店）と協同組合の店をVAT、その他の地方税および課税から免除する。
- n. Samurdhi Authorityは、Samurdhi受領者および低所得世帯に栄養食品を提供するための資格証明書を発行する。彼らは毎週米、レンズ豆、玉ねぎ、食品カードを提供される。
- o. 大統領基金により、COVID-19の蔓延防止と、必要な医療および救済措置の提供に関連する特別な銀行口座がセイロン銀行に開設された。この目途として1億ルピーが大統領基金から寄託された。また、この基金への寄付を希望するすべての国内外の寄付者に対する税および外国為替管理の制限が解除する。
- p. 軽犯罪で起訴された囚人と保釈条件を満たせない囚人に一定の救済を与える。<sup>11</sup>

#### E. 2020年4月 第1週 [陽性確認数 138]

- 政府は、米と野菜、および肉、卵、漁業などの他の動物性食品の生産に従事する農家の活動を支援することを決定した。生産物は防災センターの協力を得て、国内農家から買い上げ、協同組合とスーパーマーケットの連携により商品が届けられることが期待される。
- 郡行政長官、公衆衛生担当官、治安部隊の支援を得て、病院に登録している治療中の患者の自宅に薬を届けることを決定した。民間の薬局から薬を購入する患者に、地元で選ばれた数少ない薬局を通じて薬を配布するシステムを整えることも議論された。
- 在宅勤務は、必須サービスとして分類されている場合を除いて、州、準政府、および民間企業に拡大実施されることになった。
- スリランカ港湾当局は、港湾での通常の業務を継続するために即時に滞船税と入国税を免除し、いくつかの救済策を提案した。



Source: <https://www.president.gov.lk/home-delivery-of-essential-commodities-begins/>

- a. 外出制限期間中、輸入されたコンテナと商品、および輸入された空のコンテナのヤードと倉庫のレンタル料は完全に撤廃された。
- b. 外出制限期間中は、輸送目的で使用するトラック、ローリー、ダンプカー、クワパ（給水車）が現在利用できる港湾アクセス許可/個人アクセス許可、および業者や会社が社用/自家用車（バン、車、オートバイ）で現在利用できる港湾アクセス許可は有効とした。
- c. スリランカ警察は、スリランカ港湾局の勧告に基づき、必須業務とその関連業務に従事する民間部門の労働者に免許を発行する措置を講じた。

<sup>11</sup> Presidential office, News Archive, viewed 20th April 2020, <<https://www.president.gov.lk/possibility-of-releasing-prisoners-charged-with-minor-offences-explored/>>



- d. 港湾のターミナルとインターターミナル間を運行するコンテナ/貨物船に必要な燃料を得るための設備が整えられた。
- e. 必須業務に従事しているスリランカ港湾局の職員には、衛生設備、福祉設備、交通手段が提供される<sup>12</sup>。

F. 2020年4月 第2週 **【陽性確認数 147】**

- 市民生活の混乱を最小限に抑えるため、収集データを詳細に分析した結果、外出制限を実施するための地域の選択と隔離区域の宣言が政府の最高レベルで行われた。
- COVID-19の発生に直面して、低所得で脆弱な家族や個人に物的支援が与えられた。支援内容と対象グループは以下の通り。



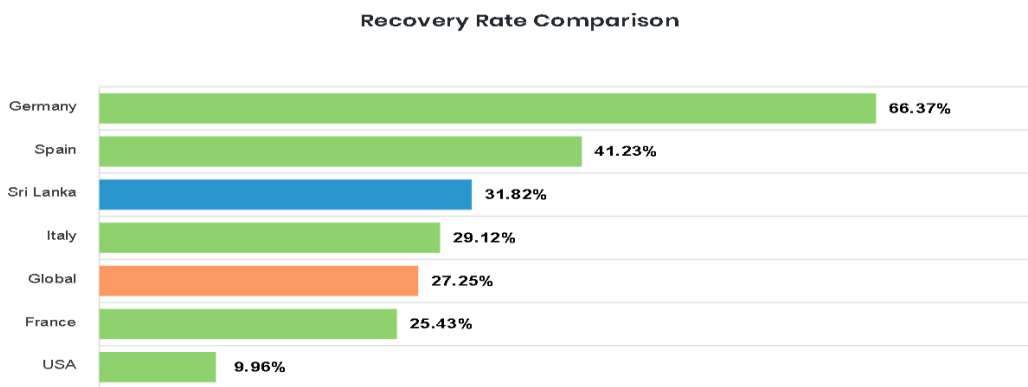
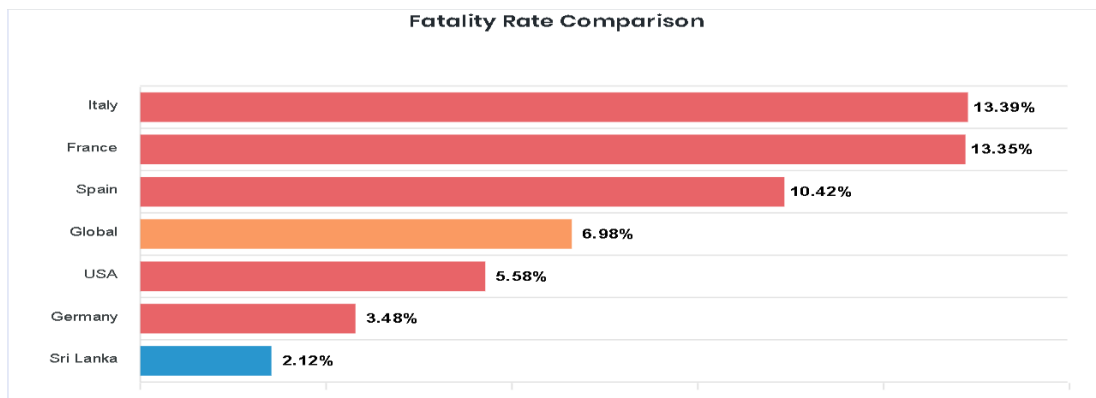
Source: <https://army.lk>

- a. 416,764人のすべての高齢者手当受給者と最近登録された142,345人の高齢者に、それぞれRs. 5,000を支払う措置がとられた。
- b. 84,071人の障害者と35,229人の新しく登録された障害者にRs. 5,000の支援金が支給される。
- c. 農業保険スキームに登録されている合計160,675人の農家にも、それぞれRs. 5000の支援金が支給される。
- d. 25,320人の腎臓患者と13,850人の新しく登録された患者にRs. 5,000の支援金が支払われる。
- e. 妊婦と栄養失調の子供を持つ家族の住居にThriposha（訳者注：とうもろこしと大豆から作られる栄養補助食品）とその他の栄養補助食品が直接届けられる。
- f. Samurdhi銀行およびSamurdhi Authorityにより、1,798,655人のSamurdhi受領者すべてと最近登録された600,339人のSamurdhi受領者に、それぞれRs. 5,000を提供するための措置がとられた。
- g. 645,179人の公務員への年金の支払い。
- h. 公的機関の職員150万人の4月の給与の支払いと給与からのローン支払い控除の次の決定があるまでの一時停止
- i. 三輪車タクシー、トラック、スクールバス、バンの所有者や自営業運転手などの150万人の自営業者に対し、リース分割払いへの支援。
- j. 経済的困難のため従業員の賃金を支払うことのできない民間企業に対する救済<sup>13</sup>。

<sup>12</sup> Presidential office, News Archive, viewed 20th April 2020, <<https://www.president.gov.lk/home-delivery-of-essential-commodities-begins/>>

<sup>13</sup> Economynext, viewed 20th April 2020, < <https://economynext.com/sri-lanka-bankers-to-use-office-ids-for-work-during-coronavirus-curfew-police-61122/>>

- 多くの民間企業および政府当局者は、それぞれの公式の部門特別基金からCOVID-19ヘルスケアおよび社会保障基金に数百万ルピーを提供した。
- 政府当局とさまざまな分野を代表する医療専門家との会議が開かれ、ウイルスの蔓延を防ぐために講じられた措置が高く評価された。また今後のステップについて、詳しく議論が行われた。保健当局は、あらゆる状況に直面するために、より多くのテストキットを入手するために必要な行動を取るよう指示された。
- 食の安全を確保するためには、必須の食糧と米の生産、貯蔵、流通の提供が不可欠であるため、すべての精米所の所有者の業務は、COVID-19隔離政策下で必須のサービスとして宣言された。

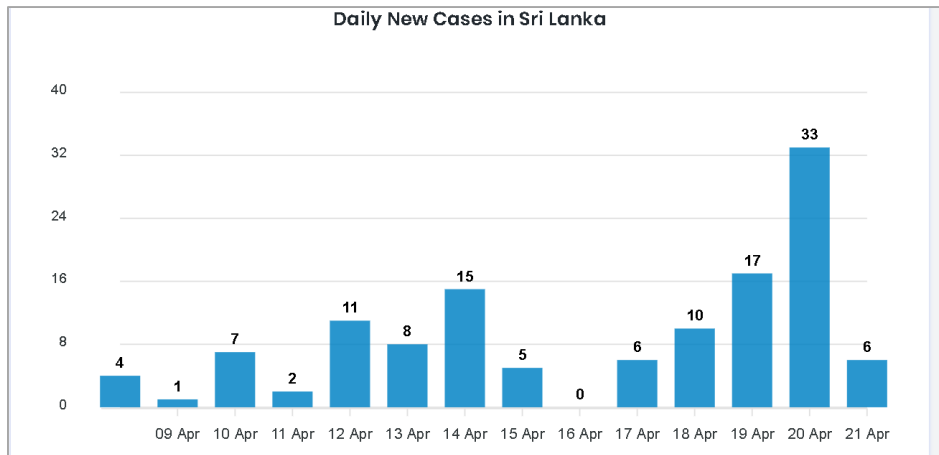


上：主な国の死亡率の比較 下：回復率の比較  
Source: <https://hpb.health.gov.lk/covid19-dashboard/>

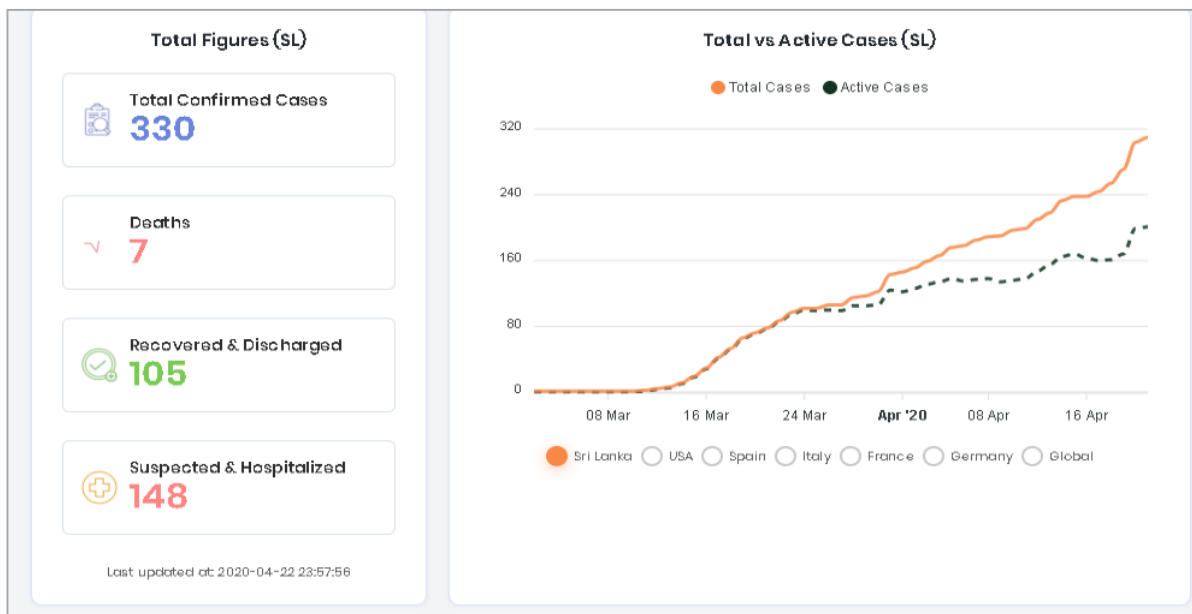
#### G. 2020年4月 第3週 [陽性確認数 168]

- 国の経済を守るため、すべての州の保健局長と共に、州レベルの経済活動の即時再開の可能性を探るための会合が開催された。
- 市民生活の正常性を回復することを目的として、政府はCOVID-19の蔓延を抑制するために課せられた外出制限を緩和することを決定した。

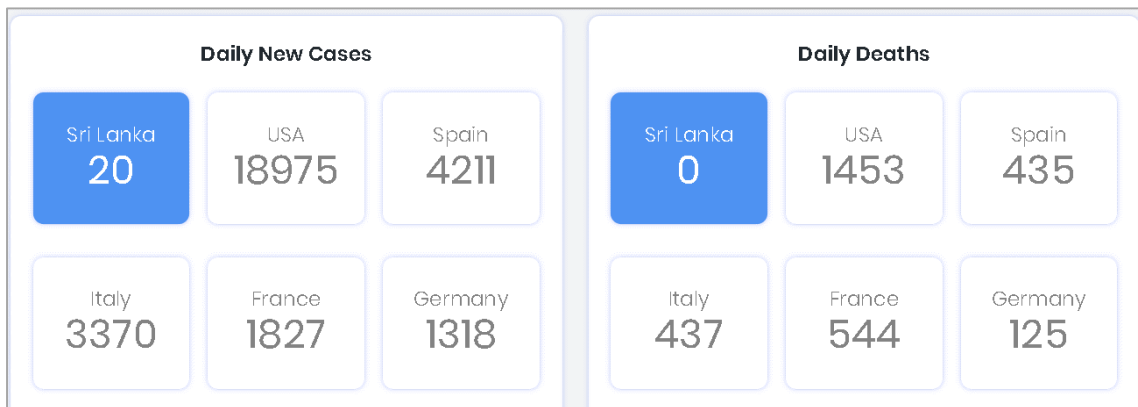




日別感染者数 (Source: <https://hpb.health.gov.lk/covid19-dashboard/>)



累積感染者数 (Source: <https://hpb.health.gov.lk/covid19-dashboard/>)



各国の日別感染者数・死者数 (4/22) (Source: <https://hpb.health.gov.lk/covid19-dashboard/>)

## 国家災害管理局、県行政事務所、および郡行政事務所の関与

スリランカは数十年にわたって国家災害管理局 (Disaster Management Centre) を通じて緊急事態対応を行ってきた。これは、洪水、大雨の季節、津波、乾季およびその他の困難な状況で被害を受けた人々への福祉のために政府の資金と資源を活用するものでした。政府がCOVID-19に対し緊急事態を公表したため、不幸に見舞われた人々の支援を届けるための活動が、国家災害管理局によって実施された。

- 大統領タスクフォースは、COVID-19の状況に関する詳細を入手または通知するためのホットラインが確立されたことを発表した。このような問い合わせや通知は、ホットライン117で行うことができる。このホットラインは、国家災害管理局との共同により、2020年3月15日から利用できる。



- 必須食料品と食品の配給は、政府の備蓄と民間企業から入手により行った。「グラマニラダリ (GN)」(行政業務を担当する村の担当者、訳者注：スリランカの行政の最下位単位の長、村長にあたる)は、県行政長官と郡行政長官の権限の下で、政府からの支援が必要な人々を特定する責任があり、物品の配布は郡行政事務所が行った<sup>14</sup>。

## コミュニティの関与

多くの政府職員、主に公衆衛生医師と公衆衛生検査官が、地域で発生するコミュニティによる誤った行動を克服するために配置されました。一般市民は、病気から身を守るために適切な衛生方法と自主隔離を維持することを求められています。

ウイルス蔓延中のコミュニティの主な活動としては、補償することができなかった人々への必須食糧やその他必需品の提供を行っている。



<sup>14</sup>Ministry of health and Indigenous Medical Services, viewed 21st April 2020, <[http://www.health.gov.lk/moh\\_final/english/](http://www.health.gov.lk/moh_final/english/)>



Source: <http://manusathderana.lk/>

当局のガイドラインによれば、死亡したCOVID-19感染患者の遺体は袋に入れて消毒する必要があるとされている。直近の親族のみが病院内で亡くなった人の顔を限られた時間だけ見ることができるが、身体に触れることはできない。死体防腐処理（エンバーミング）は禁止されており、葬儀場では、すぐに遺体を袋に入れ、宗教的な儀式のために封印されたお棺に入れることが求められている。集会や葬儀は禁止されており、遺体は死後24時間以内に火葬する必要がある。



Source: <http://www.epid.gov.lk/web/>



## 研究開発

国と民間機関が、パンデミックによって生じた問題の解決策を見つけるための研究開発プログラムを始めました。スリランカ海軍の研究開発部門は、「メディメイト」と呼ばれるリモートコントロールスマートアプライアンスを開発した<sup>15</sup>。これにより、検査や治療中に医療機関が患者からの距離を保てるようになる。「メディメイト」は車輪付きで遠隔操作できるので、医療従事者は患者と会話したり、薬や食事を運んだり、自動ノズルから消毒液をスプレーしたりできる。また、スリランカ海軍の研究開発部門は、追加機能を備えた消毒室を開発し、カルボピラ教育病院、ネビルフェルナンド教育病院、KDU大学病院に配置した。

Code Gensグループの子会社のVega Innovationは、スリランカ保健省と共同で、1台あたり650米ドル未満のコストで生産できる低コストの従量式持続的強制換気（VC-CMV）医療用人口呼吸器を設計した<sup>16</sup>。



Source: <https://www.vega.lk/articles/2020/04/01/low-cost-medical-ventilator-manufactured-by-vega-Innovations-to-support-COVID-19-outbreak/>

Hemasグループの子会社である株式会社Atlas Axilliaでは、食品や医薬品の運搬、体温のチェックなどの基本的な健康状況の確認、医師による患者の遠隔監視、患者との遠隔会話が可能な自動誘導車両（AGV）ロボットを開発した<sup>17</sup>。AGVはワイヤレスポートを使用して自身を再充電し、医療従事者との接触をさらに減らすことができる。最初のプロトタイプはホマガマ基礎病院に贈られた。

ペラデニヤ大学の工学部のエンジニアは、酸素呼吸システムとICUベッドを修理および開発した。スリランカ国立科学財団はCOVID-19パンデミックに立ち向かうために資金を割り当て、スリランカの科学者からの提案を呼びかけた。

## 各分野への影響

### 選挙

3月19日、選挙管理委員は、COVID-19パンデミックにより、2020年のスリランカ議会選挙は通知があるまで無期限に延期することを発表した。スリランカ政府は当初、COVID-19の大流行にもかかわらず、予定されている選挙の予定は4月25日に予定通り進めると主張してい

<sup>15</sup> Sri Lanka Navy, Navy develops remote controlled smart appliance, viewed 22nd April 2020, <<https://news.navy.lk/eventnews/2020/04/08/202004081700/>>

<sup>16</sup> Vega innovations, Low cost medical ventilator, viewed 22nd April 2020, <<https://www.vega.lk/articles/2020/04/01/low-cost-medical-ventilator-manufactured-by-vega-innovations-to-support-COVID-19-outbreak/>>

<sup>17</sup> Sunday observer, Atlas invents robot to support medical, viewed 22nd April 2020, <<http://www.sundayobserver.lk/2020/03/30/news/atlas-invents-robot-support-medical-personnel-combating-coronavirus>>



たが、当局は選挙集会や会合を禁止した。4月3日、スリランカ選挙管理委員会は議会選挙の延期について裁判所の意見を求めるようラジャパクサ大統領に手紙を送り、議会選挙について、6月1日まで選挙を完了することはできないと述べた<sup>18</sup>。

## **観光**

COVID-19の蔓延はさらに、2019年のイースター爆破事件の影響からゆっくりと回復していた国の観光業の低迷に大きな影響を与えた。観光業は中国人観光客の減少により直接影響を受けた。

## **環境**

大気汚染指数に関して、無期限の外出禁止令を課して以来、コロンボなどの密集地域での大気汚染の劇的な改善が確認された。

## **教育**

政府は、3月12日から4月20日までの5週間の学校閉鎖を命じ、これにより第1学期の終わりとなり、第1学期に予定されていた大学の試験も中止された。また、スリランカ銀行研究所を含む民間の授業とチュートリアルは、3月26日まで2週間休校となった。2020年4月11日、政府は新学期の開始を2020年5月11日まで延期することを発表した<sup>19</sup>。

## **エンターテインメント**

スリランカ政府は、COVID-19感染の恐れがあるなかで2週間にわたって集会を禁止し、もし実施する場合は警察から許可を得る必要があるとした。全国のすべての映画館、国立公園、動物園、植物園は、通知があるまで休業している。3月17日から即時発効された通知で、スリランカプラネタリウムも、通知があるまで閉鎖されている<sup>20</sup>。

## **経済**

コロンボ証券取引所は、COVID-19の蔓延の恐れの中、2020年3月13日、株式市場が少なくとも30分間停止され、8年ぶりに記録した安値で取引を終えました。3月5日、スリランカ中央銀行（CBSL）は金融政策の見直しを発表し、金融当局はCOVID-19の発生にもかかわらず政策金利を変更せず維持することを決定した（SDFR：預入金利は6.5%に固定され、SLFR：貸出金利は7.5%に固定）。3月16日、CBSLは予期せぬ動きのため金融政策の見直しを修正し、COVID-19のパンデミックにより政策金利を25ベースポイント引き下げ、法定準備率を1ベースポイント引き下げた。またCBSLは、経済を振興させるための拡大金融政策を継続した。さらに、CBSL総裁は、COVID-19によって引き起こされる経済的影響のためにパニックにならないように金融機関に要請した。3月18日、証券取引委員会はコロンボ証券取引所（CSE）が3月19日まで閉鎖されることを明らかにした。CSEには、3月23日と24日に特別休暇が与えられた。

中央銀行は、銀行に3月23日の少なくとも2時間銀行業務を行うよう要請し、銀行は一般の人々に現金の代わりに電子取引とATMサービスを利用するように働きかけた。専門家は、国がCOVID-19のパンデミックによって引き起こされた経済的圧力により、2001年以来最悪の記録的に低いマイナス成長率をマークする可能性が高いことを明らかにした。

3月27日の時点で、COVID-19のパンデミックの中で、国内のスリランカルピーは、対米ドルで191.99に大きく下落した。4月8日現在、スリランカ政府による金融統制にもかかわらず、国内のスリランカルピーは対米ドル200.47までさらに下落しており、史上初めて200レベル

<sup>18</sup> News in Asia, Corona virus, viewed 15th April 2020, <<https://newsin.asia/sri-lankas-general-election-postponed/>>

<sup>19</sup> Colombogazette, Government schools to be closed, viewed 15th March 2020, <<https://colombogazette.com/2020/03/12/government-schools-to-be-closed-till-april/>>

<sup>20</sup> Daily News, All cinema, viewed 20th April 2020, <<http://www.dailynews.lk/2020/03/14/local/214436/all-cinema-theatres-closed-until-further-notice>>

以上に達した。

国のトップ企業に位置付けられている国内のいくつかの巨大企業は、従業員の給与を5%から35%引き下げると発表した。これらの企業には、ジョンキールズ (John Keells)、スリランカ航空、スリランカ最大の衣料品輸出メーカーであるブランディクスランカ (Brandix Lanka) などが含まれる<sup>21</sup>。

---

<sup>21</sup> News first, Colombo stock exchange, viewed 15th April 2020, <<https://www.newsfirst.lk/2020/03/13/colombo-stock-exchange-halts-trading-for-the-third-day/>>